「宮城県地域公共交通計画」素案に対する御意見等とその対応方針(第1回協議会での御発言等)

資料2

No.	委員	概要	対応等		
			対応の概要	中間案の主な記載部分	中間案頁
1	鈴木委員	<p>■今後の路線の休廃止に係る手続きについて 宮城県地域公共交通活性化協議会に諮る場合と、市町村地域公共交通会議に諮る場合の取扱いについて</p>	<p>令和5年6月21日付け事務連絡にて情報共有。 (事務連絡の概要)※宮城運輸支局に確認の上作成 ・単一市町村にとどまる路線→地域公共交通会議での協議。 ※路線の休廃止に係る規定がある場合 ・複数市町村にまたがる路線→地域公共交通活性化協議会での協議。※交通事業者は沿線市町村との協議を事前に行うよう努めるものとする。</p>	-	-
2	泊委員	<p>■計画への県民の御意見等の反映について 計画に対する県民の御意見を伺う機会がより必要ではないか。</p>	<p>中間案については、素案に対し委員の御意見を反映させることで策定し、最終案に際しては、パブリックコメントの実施などにより、県民を含めた委員以外の御意見についても反映を行うことで策定しようとするものである。 なお、次期計画の策定に向けては、県民の御意見をさらに反映することができるよう、策定の手法について検討を行う。</p>	-	-
3	小林委員 (東北運輸局 前交通企画課長)	<p>■地域間幹線系統(バス)に係る国庫補助申請に関する記載について 計画の中に、幹線系統として、広域的な移動を支える系統の役割や位置づけと、それを踏まえて国庫補助が必要であるという記述をお願いしたい。</p>	<p>委員からの御意見を踏まえ、東北運輸局に確認の上、追記及び修正 (反映状況は資料3から資料5のとおり)</p>	<p>(中略)社会生活を送るために当該交通手段の維持・確保が極めて重要ですが、運行事業者単独では維持が困難であることから、国(地域公共交通確保維持事業)等と連携し、運行を支援します。 (以下略)</p>	51
4	小林委員 (東北運輸局 前交通企画課長)	<p>■地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の略称について 計画全体で、国と併せた略称である「地域交通法」に統一してほしい。</p>	<p>委員からの御意見を踏まえ、東北運輸局に確認の上、記載を統一 (反映状況は資料3から資料5のとおり)</p>	<p>(中略)令和2年には、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(以下「地域交通法」という。)の一部が改正され、(以下略)</p>	1
5	小林委員 (東北運輸局 前交通企画課長)	<p>■宮城県地域公共交通計画の関連施策の実施状況について 事業が今どの地点に到達しているのか、代表的なものをお示しただけると、議論の材料になるのではないか。</p>	<p>委員からの御意見を踏まえ、宮城県地域公共交通計画の主な関係事業の現状等について取りまとめた。 (参考資料のとおり)</p>	-	-
6	吉本委員 他	<p>■低床バスの導入について 道路状況によっては通れない箇所もあることや、その改善については、どう捉えているのか。</p>	<p>委員からの御意見を踏まえ、追記 (反映状況は資料3から資料5のとおり)</p>	<p>(中略)また、低床バスについては、国の補助事業を活用すること等により、導入を進めていますが、運行する地域の道路状況によっては導入が難しい箇所も存在するため、利用環境や利用者のニーズに応じたバリアフリー化の推進が必要となっています。 (以下略)</p>	10